



コロナに負けるものか!!

花ノ木

第 108 号

令和2年11月22日

花ノ木医療
福祉センター

電話 0771-23-0701

FAX 0771-22-8348

第一病棟

第1病棟も多分に漏れず新型コロナウイルスの影響を大きく受けました。病棟内でもソーシャルディスタンスを意識し、集団にならないように注意しながらの生活となっています。

入所者の皆さんは外出活動やグループでの活動を楽しみにされていますが、そこにも制限がかかります。集団活動ができず個別活動のみとなり、外出活動も家族室を使用したものとなりました。最近はずし緩和されて、集団活動は距離感を工夫しながら実施可能になり、外出活動もドライブ



や食事のテイクアウトなどを利用しながら楽しむことができるようになりました。

季節ごとの行事も、以前は1か所に皆で集まって行っていました。野菜の収穫(写真は病棟入り口前での提供)や、各部屋に職員が回ってプログラムを提供する「流し」のスタイルで行っています。

まだまだ以前のように何の制限もない状況とはいきませんが、限られた範囲の中で少しでも楽しい生活が送れるよう職員がアイデアを出し合っており「新しい活動様式」を模索していると思います。

(生活支援員 西本 葵)

第二病棟

コロナ感染防止のため、第2病棟の集団活動は、以前のように5〜6名のグループで行うことが出来なくなり、2〜3名でグループを組み直し「小集団活動」と名前を変えて6月より再開しました。

毎週予定表を作り、午前と午後に分け、多くの活動が行えるように工夫し

て行っています。活動が再開され、活動中の入所者さんの表情も豊かになり園芸・楽器遊び・スヌーズレン・散歩など楽しんでいきます。

なかなか行えていなかった行事も各部屋を回りながらや、ランチルームで少人数制で行う等の工夫をしながら、9月13日に「秋祭り」と題して魚釣り・ヨーヨー釣り・写真撮影会を行うことができました。ランチルームはすぐく盛り上がり、順番を待っている方が早く行きたいと、場所の取り合いになるくらいでした。

10月は気候が良く散歩に行くことが多くなりました。第2病棟ではシャボン玉をするのが流行しています。



ベランダ、散歩先の公園、中庭、と外に行ける時は必ず持って行っています。良く飛ぶシャボン玉を笑顔で見つめる方や、動くシャボン玉を眼で追っている方など、それぞれの楽しみ方で活動を行っています。

(生活支援員 山内 孝子)

第三病棟

隔週火曜日の午前中に、集団活動「制作女子」を実施しています。元々は所内デイのメンバーでしたが、ニーズに分れてグループを再編成し、三密にならないように注意しながら活動を行っています。

「制作女子」のグループ名の通り、女性二名が参加し、季節に合った飾り絵などを制作しています。それぞれの得意な事を活かして、職員と一緒に絵を描いたり、紙をちぎって張り付けたり等、力を合わせて一つのものを仕上げていきます。今までにひまわりや、落ち葉のようなどちぎり絵ができました。出来上がると「完成！」と拍手をして皆で一緒に喜び合います。お二人共、笑顔が素敵で、その笑顔を見ると職員も心が和みます。そして、お楽しみの美味しいジュースを飲んで終了です。



現在第3病棟では、「花を咲かせましょう」の活動を行っています。各グループで分担しながらチューリップの球根を植えています。「制作女子」で

も先日、プランターに球根を植えましたが。球根って？これ何？と目を丸くしながら、土の上に投げ入れてくれました(笑)これから水やり等、皆で協力しながら育てていきたいと思っております。春にきれいなチューリップが咲くのが今から楽しみです♪

(生活支援員 藤田 守亨)

第五病棟

第五病棟ではこれまで集団活動や個別活動で手足浴をおこなってきましたが、拘縮のある利用者様や座位をとる事が難しい利用者様には実施できずに行っていました。

そこでシャボンラッピングという泡の手足浴を始めました。やり方はポディーツープを泡立てネットでホイップ状にし、その泡の入ったビニール袋の

 中に利用者様の手や足を入れて泡が密着するように袋の上から泡を軽く揉むようにマッサージをします。その後、一〇分ほどしてビニール袋から手足を抜き、蒸しタオルで十分に泡を拭き取り最後にベビーローションで保湿します。ゴシゴシこすらなくても手や足の汚れが落ち、フワフワの泡の感触やボディ

ソープの良い香りに体験された利用者様は、一様にリラックした表情をされていました。

泡立てに少し時間がかかりますが足浴することが難しい利用者様でもお湯やバケツを使わずベッド上でもできるといふメリットを活かして今後も取り組んでいければと思います。

(生活支援員 菊本 俊樹)



はなのき通所

例年であればサークル活動やレクリエーションで楽しい雰囲気のみならず、大いに盛り上がるのですが、今年にはコロナ感染予防のため、密を避け小集団での活動となっています。

ボーリング・射的・トントン相撲：と様々なゲームに取り組み、押す・握る・引つ張る等、一人ひとりができることを目一杯楽しめるよう、握りやすい取っ手・ビッグスイッチの使用等工夫しています。

また、春と秋は心地よい風を感じ、夏は車いすダンスで盆踊り、冬には干支の装飾制作と季節を感じる活動を行います。

8月の夏祭りは、ミニ夏祭りとして

グループごとにゲームコーナーを回る形で行いました。

ボールの位置・台の高さ・角度と丁寧に発射台を調整し高得点を狙う「ストラックアウト」。発射台にセットした紐を引き発射!!狙いは完璧!のはずがフレームを直撃!とハプニングがありながらも高得点の連発、接戦となりました。

土俵となる土台に付けた輪っかの紐を引き合う「とんとん相撲」。紐を引く強弱やタイミングが勝敗を分け、一瞬の決まり手から長時間の取り組みと、輪っかを握る手に力が入ります。



DVDシアターで壁一面に映し出される「花火鑑賞」。映像と大きな音に花火大会の雰囲気を楽しみました。

みんなでワイワイとはいきませんが、夏の日を楽しんでいただけだと思います。

(生活支援員 八木 真希子)

児童発達支援センター

令和2年9月から放課後等デイサービス「ココはなのき」がスタートし、午後3時半から、月曜日10人、水曜日5人、金曜日9人の子どもたちが通ってきています。感染対策をしっかりしながら、元気な小学生のパワーに負けないよう、放デイに携わる職員も張り切っています。

「ココはなのき」の看板は、北桑田高校森林リサーチ科の学生さんにオーダーして作っていただきました。素敵な看板なので、近くに来られた際にはぜひご覧下さい。なんと、おまけとして、木で作ったおもちゃもプレゼントいただきました!



「おひさま」では、保護者の方々の協力の元、密を防ぎ、手洗いや消毒を徹底するなど、新型コロナウイルスの感染対策を徹底しながら、おおむね通常の療育活動ができるようになり、子どもたちはみんな笑顔で通園しています。

1日中、子どもたちの元気な声が聞こえている児童発達支援センターです。

(こども療育係 高橋 良子)

***ご経歴、花ノ木にいられた経緯を教えてください。**

出身は奈良県奈良市で、出身大学は奈良県立医科大学です。大学卒業後は、初期研修を含めて5年間京都第二赤十字病院小児科で働き、その後2年間京都府立医科大学付属病院小児科を経て、令和2年4月から花ノ木に來させていただいています。現在は卒後8年目になり、京都府立医科大学の大学院1年生でもあります。本格的な研究はまだ行っていません。来年以降は、大学院でシヨウジョウバエを用いた神経疾患の研究を行う予定になっています。

***花ノ木にいられた印象はいかがですか？**

私はずっと急性期病院にいたので、医療者以外の職種と仕事をする事に慣れていなかったのですが、花ノ木は慢性期病棟ということもあり、医師や看護師などの医療者の他に、生活支援員やリハビリの方々、通所や支援学校の先生方が中心になって、花ノ木の利用者が支えられていることを改めて実感しました。

また、これまでは小児科として主に小児を診察していましたが、花ノ木では大半が成人の方なので、初期研修以来の成人疾患については勉強しなおしているところ。花ノ木では子どもが少ないせい、これまでの病院以上に、入所されている小児の方たちには癒されています。

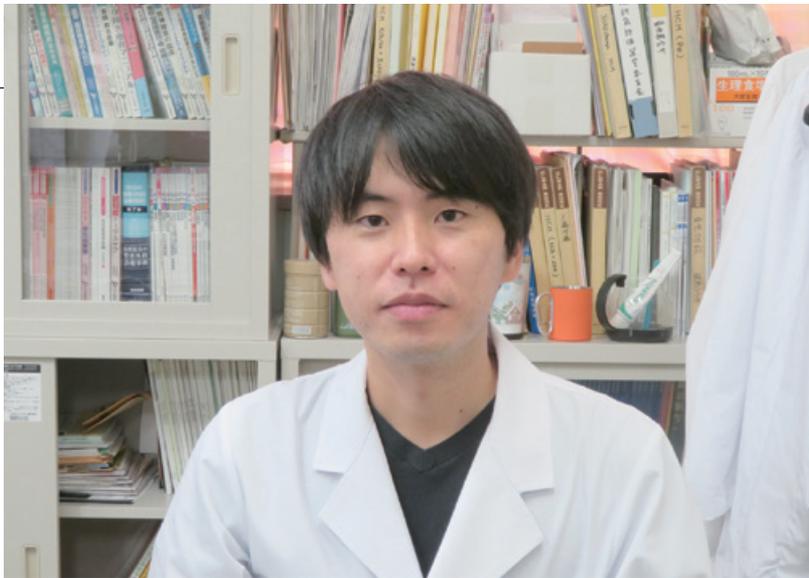
これまでの病院では、どちらかというと医師より看護師の方の立場が強く、肩身が狭い思いをしてきたのですが、

花ノ木では、薬の処方や検査のオーダーの指示、カルテを書く用紙の準備まで、きめ細かく準備して下さっており、手取り足取り教えてくださるので、花ノ木の看護師の方々には大変感謝しています。かなり皆さんに甘えてしまっている部分が多いので、今後こ

シリーズ「この人にきく」

医療技術部 医師 松岡 太郎 さん

今回は、4月から小児科医として勤務されている松岡先生にお話を伺いました。



外来も含めて花ノ木で経験し、勉強させていただければと思っています。

***今後の目標など教えてください。**

てんかんや重症心身障害、発達障害なども含めた小児神経専門医として働くことです。大学院では論文をたくさん

これまでの病院に戻った時が少し心配です。

***今後花ノ木で取り組みたいと思われることありますか？**

発達障害やリハビリについては、これまでほとんど触れてこなかったので、

ん読まないといけません。英語の論文をみるとどうしても眠くなってしまうので、もう少し英語にも強くなりたいです。

***趣味、興味のあることはありますか？**

小学校から大学までずっと剣道をやっていました。冬はスノーボード。スキーによく行っていました。最近剣道もスノーボードも全くできていませんが、花ノ木にきてから(年齢のせい?)少し太りだしたので、何かスポーツを始められたらと思っています。年齢も30半ばになって健康を意識するようになってきたので、食習慣や運動習慣など気をつけたいと思っています。

***休日の過ごし方など教えてください。**

最近長男がポケモンにはまっている影響で、いまさらながらですが、ポケモンGOをしながら、子どもと一緒に二条城の周りをマラソンしたり、サイクリングで京都市内の公園や寺巡りをしたりしています。花ノ木に来てからは、かなりプライベートに時間がさけるようになりましたので、妻の休息もかねて、なるべく子供と一緒に過ごす時間をもつようにしています。

※今回は、先生がお忙しいことや、感染対策等々もあり、紙上インタビューのような形で、松岡先生に質問に答えていただきました。今後は病棟だけでなく、外来にもたくさん関わってくださると嬉しいです。コロナで活動が制限されたりしていますが、花ノ木のスポーツサークルもまたのぞいてみてください。ありがとうございました。

掲示板

コロナ禍での非常食訓練

令和2年9月15日(火)10時よりコロナ感染症発生を想定した給食用対応マニュアルに基づく訓練を行いました。

例年は震災によるライフライン停止想定ですが、今回は調理を行う職員が感染症に罹患し消毒作業完了までの間、調理場を使用することができず調理員も出勤できない場合を想定し、各部署より1~2名、栄養課より4名、計16名参加で非常食の準備・盛り付け・配膳までをマニュアルに沿って行いました。

一連の流れを説明した後、非常食保管場所の旧厨房で2週間分の非常食と備品、注入食の確認を行いました。レトルト食品、注入食については常温で、ゼリー食摂食者用のミース食は冷凍庫内に保管しています。消毒作業で室内での温め調理ができない場合や震災時にも役立つ、屋外調理時の非常用ガス取出口から供給する方法を施設係より説明していただきました。

4つの病棟を2~3名ずつが担当し、温め、盛り付け、配膳を行い、時間内に問題なく提供することがで



きました。訓練を通しての注意点や改善点として、非常用のゼリー食はとろみがかかり水分でむせやすい為、介助するときには配慮が必要であること。各病棟の電子レンジの容量が違うので冷凍ミース弁当を加熱する時間が一定ではないこと。マニュアル掲載写真を増やし、保管場所や必要備品を誰もが分かり易くする等、新たな発見もありました。訓練は実際に事象が発生したときの冷静な対応にもつながり、それが入所者さんの安心にもつながるため、今後も訓練を定期的に行い、万が一に備えることが大切だと思います。

(栄養管理係 管理栄養士 青山佳子)

花ノ木の動き

(令和二年七月一日~令和二年十月三十一日)

- 7/3 所内研修「防火設備、消火器操作法、リフト車取扱」
8 所内研修「前期医療安全」
12 京都府医師会看護専門学校 見学・実習(~/16)
17 聖カタリナ高等学校 見学・実習(~/31)
27 明治国際医療大学 見学・実習(28)
28 医療管理・通園・児発センター棟防災訓練
31 明治国際医療大学 見学・実習(~/31)
31 聖カタリナ高等学校 見学・実習(~/7)
5 所内研修「決算報告」
24 京都府医師会看護専門学校 見学・実習(~/27)
31 聖カタリナ高等学校 見学・実習(~/9/4)
9/1 放課後等デイサービス「ココ はなのき」開所(月・水・金)
8 京都光華女子大学 実習(~/30)
3 所内研修「個人情報保護・苦情対応等」
8 総合防災訓練(第3病棟)

編集後記

先月実家の南丹市で園部城祭りが開催され、夜には打ち上げ花火が上がりました。お城祭りの花火は15分程度のものでしたが、他の町内でも同じ日に時刻を合わせて数分間の打ち上げ花火が上がり、ちょうど実家近くの田んぼの中からも花火が上がりました。

今年はコロナの影響でイベントやお祭りはことごとく中止が続いており、夏の花火大会も例に漏れず中止となりました。まさか秋になって花火を見ることができるとは思わず、とても嬉しかったです。実家の前の道路から至近距離で打ち上がり、打ち上がる花火の足元まではっきり見えました。大きな花火は頭上から降ってくるようでとても迫力があり、スターメインはドンドンと体中に響いてきました。ほんの数分間でしたが、感動と余韻に包まれて心のリフレッシュができました。コロナ禍で何かと制限をされることが多いですが、その中でもできる楽しみを私たちも提供していければいいなと改めて感じました。

(編集委員 星野聡美)

- 15 非常食訓練
17 医療管理・通園・児発センター棟防災訓練
24 健寿のつどい
30 所内研修「新採：地域における花ノ木の役割」
藍野大学 OT見学実習(~/28)
10/5 明治国際医療大学 見学・実習(~/30)
京都医療福祉専門学校 相談援助実習(~/11/8)
花園大学 保育実習(~/16)
7 所内研修「メンタルヘルスケア」
14 所内研修「感染対策：基礎技術」
21 所内研修「理事長講話」